

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		九州中央地域連携推進協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画財政課	担当者名	齋藤 正典
	基本事業	84	広聴・広報機能の充実			所属班	政策企画班	(内線)	1245
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	九州中央地域連携推進協議会規約		
	1	2	1	11	11050		成果優先度評価結果		
							コスト削減優先度評価結果		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H9 年度)					
				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	九州中央地域(熊本・大分・宮崎県)の自立的で多様に富んだ地域社会の実現に向けて、市町村の連携強化と交流拡大による広域的で一体的な交流圏域の構築、地域特性を活かした一体的な振興整備を行うことを目的に平成9年8月1日に組織された「九州中央地域連携推進協議会＝通称：九州中央77」に参画している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	本協議会は、当初77市町村で発足、構成市町村の連携強化と交流拡大事業の推進に取り組み、定着してきたところであるが、市町村合併の進展により現在は、36市町村での構成となっている。〔熊本県：熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の19市町村〕、〔大分県：大分市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市の7市〕、〔宮崎県：延岡市、高岡町、西郷町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日影町、高瀬町の7市町村〕及び推進協議会の構成員に賛同する市町村の19市町村、及び協議会事務局の職員等による。・推進協議会が取り組む事業として、「九州中央77スタンプラリー」事業があり、市の物産・主要施設を紹介、来訪を促進する。・構成市町村は、スタンプラリーのスタンプ設置箇所の選定、承諾確認、スタンプラリー用品の配置、特産品当選者への賞品発送(各市町村2名分ずつ分担)を行う。
【業務の流れ】	
【主な予算費目】	需用費(九州77スタンプラリーリーフレット代)、負担金補助及び交付金(市町村負担金)
【意見や要望】	
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・総会、交流研修会、会議への参加 ・スタンプラリーへの参画(スタンプ設置場所:2箇所)	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
→ ア 総会、交流研修会、会議回数 回	イ スタンプラリーの設置数 箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	→ ア スタンプラリー応募総数 件
・スタンプラリー参加者	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・合志市(ユーパレス弁天、きくちのまんま)に来訪してもらう。	→ ア 合志市のスタンプを押した応募件数 件
	→ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 合志市に来訪していただくという意図で本市でスタンプを押した応募件数としている。 参画事業として、業務の変化が少ないため例年どおりの件数を指標としている。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 回		3	2	2	2	2	2	
	イ 箇所		2	2	2	2	2	2	
⑤ 対象指標	ア 件		3879	2245	2500	2000	3000	3000	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件		127	139	130		130	130	
	イ								
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		130	130	130	130	130	130
	(A) 事業費計	千円		130	130	130	130	130	0
人件費	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間		78	78	78	78	78	
	(B)人件費計	千円		310	310	310	310	310	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円		440	440	440	440	440	0

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段(道路)を求める声が盛り上がる可能性もある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ この参画事業による構成市町村の経費負担は、市町村合併によって若干減少しているが、連携協議会の事業活動を行ううえでは必要なものである。協議会への参加等に伴う職員の旅費も削減されており、これ以上の削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 公平な情報提供を行っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 行政の仕事である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策